

有限会社 ホーピン中沢

(新潟県長岡市)

～ 農福連携を通じた地域コミュニケーションの活性化 ～



コシヒカリ



黒紫米



ハウスの野菜とスタッフ



長岡市越路中沢地区

経緯

- 昭和55年に任意生産組合として始め、平成7年に法人化。
- 平成24年、設立者である父親の後を継いで長女が代表取締役役に就任し、米、大豆、野菜（ブロッコリー等）の生産販売を手がけている。
- 長岡市越路中沢地区の約7割の農家の委託を受け、栽培面積45haで低農薬の野菜生産や環境に配慮した農業を展開している。
- 農産物の付加価値化にも取り組んでおり、「アントシアニン」が含まれる「黒紫米」（古代米の一種）の生産販売に力を入れている。
- 地域農家からの委託等による栽培面積の拡大に伴い、労働力不足が課題となり、福祉事業所に農作業を委託している農家からの紹介により、平成29年から農福連携の取組を始めた。

取組

- 取組に当たっては、「新潟県農作業受託サポーター配置事業」を活用し、苗箱洗い、籾殻の袋詰め、除草等の作業を委託している。
- 作業を委託することで従業員の負担が軽減され、今まで手が回らなかった作業に着手できるようになった。
- 初めて作業を委託する際は不安もあったが、回数を重ねるごとに作業に慣れていき、また、一生懸命な姿を見て信頼も生まれた。

今後の展望と課題

- 福祉事業所との信頼関係が構築されてきており、「新潟県農作業受託サポーター配置事業」が終了した後も農福連携を継続し、任せる作業の幅も増やしていきたい。
- 屋外の作業を中心とした農福連携によって、地域住民とのコミュニケーションの機会が増えてきており、地域活性化にも貢献したい。